

転倒転落予測 AI システム「KIBIT Coroban」の 単独販売を開始

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 FRONTEO）は、4月1日、転倒転落予測AIシステム「KIBIT Coroban」の単独販売を開始したことをお知らせします。

KIBIT + Coroban

「KIBIT Coroban」は、電子カルテに記載された看護記録を、FRONTEOの自社開発AI「KIBIT（キビット）」が解析し、入院患者の転倒転落リスクを予測して、転倒・転落の発生する可能性のある患者についてアラートを発報するシステムです。医療スタッフの負担を増やすことなく、従来の転倒・転落リスクアセスメントシートと同等の精度での予測が可能である点が評価され、中規模病院から大学病院まで多様な医療機関で導入されています。2015年よりNTT東日本関東病院と開発に向けた共同研究を行い、2019年9月に「Coroban」としてエーザイ株式会社とともに医療機関への販売を開始。2020年1月に特許庁より特許権を取得（特許登録番号6652986号）、同3月に日本転倒予防学会より推奨品として認定されています。

このたび、エーザイ株式会社との業務提携契約の終了に伴い、単独販売を行います。併せて、システム名を「Coroban」から「KIBIT Coroban」、また介護記録の解析を活用した介護施設向けAIシステム「Coroban Care」を「KIBIT Coroban Care」に改称いたします。

高齢者の転倒・転落は、要介護状態・寝たきり状態や認知症の進行、さらには死亡に至る危険性もあることから、その発生予防に向けたリスク管理は医療機関・介護施設における重要課題の一つです。FRONTEOは、この課題の解決への一助となるAIシステムの研究開発・ソリューション提供を通じ、医療・介護現場の課題解決とスタッフの業務負担軽減、ケアの質ならびに高齢者のQOL向上に貢献してまいります。

本件単独による業績への影響は軽微です。

* 本システムは医療機器ではありません。本システムは転倒・転落のリスクを予測するものであり、医師・看護師の判断を意図するものではありません。

■ **FRONTEO** について URL : <https://www.fronteo.com/>

FRONTEO は、自社開発 AI エンジン「KIBIT (キビット)」を用いた多様な AI ソリューションとサービスを提供するデータ解析企業です。「記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」ことを理念とし、膨大な量のテキストデータや複雑なネットワークの中から意味のある重要な情報を抽出して、エキスパートの高度な判断を支援する自然言語処理ならびにネットワーク解析技術を強みとしています。リーガルテック AI、ビジネスインテリジェンス、ライフサイエンス AI、経済安全保障の各領域で事業を展開し、さまざまな企業の課題や社会課題の解決に貢献しています。2003 年 8 月創業、2007 年 6 月 26 日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。日本、米国、韓国、台湾で事業を展開。第一種医療機器製造販売業許可取得、管理医療機器販売業届出。資本金 3,042,317 千円（2023 年 3 月 31 日時点）。

※FRONTEO、KIBIT、CorobanはFRONTEOの日本における登録商標です。

<報道関係者のお問い合わせ先>

株式会社 FRONTEO 広報担当

Email: pr_contact@fronteo.com

<FRONTEO ライフサイエンス AI 事業に関するお問い合わせ先>

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部

<https://lifescience.fronteo.com/contact>